

学生主体の新しい学士課程の創成事業 第7回FD講演会

The Importance of World History, What It Is, and Why It Should Be Taught?

～ワールド・ヒストリーの意義：それは何か、なぜ教えるべきなのか？～

ワシントン大学 国際学部教授
アナン・ヤン氏



女子大学で講義をすることを長い間楽しみにしていました。残念ながら私は日本語ができませんがどうかご辛抱ください。あまりなじみのないお話かもしれませんが、本日はワールド・ヒストリーについてお話ししましょう。コーネル大学のベッカーが有名ですが、ワールド・ヒストリーは「歴史の歴史」ともいえます。

19世紀からの歴史研究は国家に中心をおいてなされてきました。とても面白い例があります。初めて宇宙飛行士が宇宙から地球を見たときのコメントは「私の国が見えた」というものでした。つまり宇宙飛行士にとっては、宇宙から地球を見るというより、宇宙から自分の出身国をみていたのです。

ワールド・ヒストリーは宇宙から地球の歴史を見るという新しい視点です。1つの国家の歴史ではなくワールド・ヒストリアンは統合的に歴史をみるのです。ワールド・ヒストリーは、グローバル・ヒストリーとはどうちがうのでしょうか。グローバル・ヒストリーには時間の制限があり、比較的最近の、19世紀から20世紀にかけてのことに焦点をあてています。しかし、ワールド・ヒストリーは時代的な制限はなく、またローカルな歴史にも関心をもっているのです。

I. 「ワールド・ヒストリー」の定義

Goucher と Walton によれば、ワールド・ヒストリーは過去についてグローバルな視点を求め、世界中の人々のすべての歴史的体験を結びつけることを目指します。人類共通の過去を詳細に見ることによってはじめて、現在の世界を意味のある歴史的な文脈の中で見るのが可能になるのです。

すべての歴史家と同様にワールド・ヒストリアンは過去の個人や集団の経験の記録から過去の物語を創造します。そして彼らは今、自分たちの生きている世界に対する問いに答えるために過去の出来事を解釈するのです。

21世紀はまさにこのような視点が必要な世紀です。

ワールド・ヒストリーとは何か？ 定義

- ・ワールド・ヒストリーとは過去をグローバルな視点でみることで、そして世界のすべての人々の歴史的な経験を一体化すること。人類共通の過去を見ることによってはじめて今日の世界を意味ある歴史的な文脈で見ることが可能になる。すべての歴史家と同様にワールド・ヒストリアンは個人や集団の体験の記録から過去を語る。そして彼らは過去について自分たちが住んでいる、今の世界から出てくる疑問に答える形で過去を解釈する。(Goucher & Walton)

スライド 1

グローバル・ヒストリー

- ・グローバルはワールドと異なっている
- ・ワールドは人間の存在に普及するもので、例えば地球と地球の上のすべての者と人をさす
- ・グローバルが「globe」というラテン語から来た言葉で「半球的な何か」という意味である。それは地球の外からの視点を強調している。宇宙からという視点で「宇宙船地球号」という概念を思い起こす
- ・我々が生きている真にグローバルな出来事を記述するのにより適している。
- ・新しいグローバル・ヒストリーとはグローバル化の歴史であり、グローバル化の要素とその始まりについて扱うもので、地方的、国家的、地域的というよりグローバルなプロセスに注目する。(Bruce Mazlish)

スライド 2

第二次大戦後、アメリカ合衆国は超大国になり、世界の他の地域に対する関心が広がりました。特に1950年代の旧ソビエトの人工衛星スプートニクの打ち上げによって、アメリカ合衆国は旧ソビエトに追いつかなくてはならないと考え、教育の点でも追いつかなければという気運が高まりました。また冷戦のために、軍事戦略上、世界中の情報がアメリカ合衆国に必要になりました。そしてそのためには外国語の習得が重要になりました。

日本研究と中国研究に関してはライシャワーやフェアバンクなどがこの時代に登場しました。ハーバード大学で area study (地域研究) に予算が費やされました。ワシントン大学ではいくつかの地域研究センターがあって様々な視点から地域研究が行われています。しかしイラクにおける専門家は少なく、アフガニスタンについても専門家が少ないのです。オバマ大統領は「今は新しいスプートニク時代だ」と発言しています。

1960年代にアメリカ合衆国で公民権運動が起こって、多文化教育の必要が生じました。19世紀に戻って歴史を見直しましたが、1970年代には残念ながらまだ民族中心の歴史研究でした。まだアメリカ合衆国の歴史教育はヨーロッパの歴史が中心でした。80年代もまだだそうでした。新しい物語 narrative が必要でした。マクニールの論文は西洋のすばらしさを主張し、1500年以前の歴史を小さくみていたのですが、この時期に自分自身の書いたテキストを書き直しはじめました。ホジソン Marshal Hodgson らは、decenter (歴史の研究対象を周辺に移すこと) に貢献しました。ブローデルや、マルクスに影響を受けたウォーラステイン I. Wallerstein も貢献しました。そしてようやく1980年代に World History Association が創立されました。

なぜワールド・ヒストリーなのか？

- 歴史の視点を同じところに集中しないようにする。
- 1つの視点からの歴史から離れる
- 人間が共有する世界をより高く評価する
- 人間の共通性だけでなく相違点を認識する。
- 関連性に注目し、比較に焦点をあてる
- 長所と短所

スライド 6

私自身はインドの歴史を研究していますが、移民の問題に関心がありますし、東南アジアの歴史家でもあります。歴史家は複数の hat(研究対象)をもっていると思います。

ワールド・ヒストリーは、これまでのアメリカ合衆国とヨーロッパ中心の歴史観を変えるのです。これまでは主たる歴史の物語はヨーロッパやアメリカでした。しかし、ワールド・ヒストリーは、ひとつの国家にだけ注目するのではないのです。どんな小さな地域もほかの地域と関係があります。ワールド・ヒストリーは connection(関連)に注目するのです。ワールド・ヒストリーは、

「共通点」と「相違点」に注目します。例えば地域によって、「産業化」「病気」などに対して異なった反応をします。connection(関連性)と comparative(比較)の2つのCが重要です。

この考え方にはもちろん長所も短所もありますが、あまりに国家の単位にとらわれると、大きな流れが見えなくなるのです。独立ということに固執すれば、例えばインドの独立の歴史を説明するのに紀元前26年までさかのぼらなければならなくなります。

別の例をあげれば日本史と中国史や韓国史を結びつけることが可能になります。

ワールド・ヒストリーに賛成する人々の意見は、戦略的な議論があり、また普遍主義があげられます。人類にとって何を意味するかという視点をもっているからです。

またワールド・ヒストリーに反対する意見としては、現実的には多文化主義の視点はアメリカ合衆国を破壊してしまうのではないかという議論です。そして西洋に関する知識を減少させてしまうという反対しています。そして直線的で中央集権的な世界観が作られることを危惧しています。

【質疑応答】

質問者 1

質問 1 歴史教育には国家の統制というものがありますがアメリカ合衆国ではそのような統制はないのですか。

回答 1 そうですね。すべての国家は歴史教育を統制していますね。アメリカ合衆国は国家レベルではしていませんが、州レベルでは行われています。州政府は教科書を決めます。何を教えるかに関しては、統制はしていません。実際には 10 年生(日本の中学 3 年生)でワールド・ヒストリーは教えられています。わが国には移民が多く存在し、ワシントン大学では 40% の学生はアジア系で、ほかの生徒も親たちは別の地域から来ています。だからアメリカ史とヨーロッパ史だけでは学生たちは満足しません。日本で日本史を教えるのは必要ですが、また日本の歴史をグローバルな文脈でみることは今後大切なことであると政府に働きかける必要があるのではないのでしょうか。

質問 2 第二次大戦後にアメリカ合衆国は海外に関心を持ったというのが area study はどうとらえられていますか。

回答 2 私は国際学部 international studies に属しているが歴史学科にも属しています。どの大学でも地域研究の学部・学科は単独ではありません。地域研究 area study は別の学問分野の中に含まれています。わが国では地域研究に対する関心はアメリカの帝国主義の延長上にあるということもできます。

質問 3 ワールド・ヒストリーは様々な「関連性」に焦点をあてるというのが、国家の歴史に対する知識がなくてはわからないのではないか。

回答 3 ワールド・ヒストリーの学科・専攻ができて Ph.D も出しています。国家の歴史を研究すればその延長としてワールド・ヒストリーを研究することができます。ワールド・ヒストリーの研究から日本の歴史を研究することもできます。中国の歴史研究は王朝の研究だけではできません。また漢民族の研究だけでは不十分です。漢民族とその他の民族とのかかわりが大切です。パキスタンという国家は 1920 年代までは存在しなかったのです。だから日本の歴史を教える時に世界とのつながりについて教えてかまわないのではないのでしょうか。

質問者 2

質問 1 international history とのちがいは何でしょうか。

回答 1 歴史は 1 人の学者が研究すると大変ですが、海外の研究者と共同したらどうなりますか。ユネスコの歴史研究の企画は失敗しましたね。それぞれ自分の国家の歴史を記述することに終ってしまいました。ワールド・ヒストリーの視点をもてば東アジアの歴史はうまく説明できるのではないかと思います。ワールド・ヒストリーは国家に固執しないからです。international history は国家の枠組みに縛られているのです。

質問 2 方法や材料はどうなっていますか。移民の問題を知るには口述史などの細かい調査がいるのではないのでしょうか。

回答 2 多様な言葉を 1 人で自由に使える人は限られています。私は中国系インド人で、家では中国語、学校ではヒンディー語、高等教育は英語の教育を受けました。ワールド・ヒストリーを研究するならば、少なくとも 2 ケ国語は知らなくてはならないと思います。でも 1 人で完璧にできる学者がどの位いるのでしょうか。だから私は単独よりも共同研究がいいと思います。

質問 3 ワールド・ヒストリーは何を目指しているのですか。

回答 3 理想的ではありますが、私は平和をめざしています。知的な興味で研究している人もたくさんいます。コロンブスによる交流や銀の移動の研究などはワールド・ヒストリーの研究テーマです。

質問者 3

質問 1 ワールド・ヒストリーはすべての大学生に必要でしょうか。

回答 1 歴史を専攻する学生には必要ですね。すべての歴史を専攻する大学院生には必要でしょう。さもないとももの見方が大変近視眼的になると思います。しかし国内の大学で科学を専攻する学生は、ワールド・ヒストリーは選択科目です。だから科学専攻の学生は必ずしもワールド・ヒストリーは勉強していません。中学 3 年生レベルには必要ですね。このことについては、もちろんアメリカ合衆国でも反対はありました。その理由はワールド・ヒストリーを学ぶと学生が愛国的でなくなるというものでした。

質問者 4

質問 1 ワールド・ヒストリーを学ぶと、アメリカ人はどのように変化しますか。

回答 1 アメリカ合衆国は新しい試みをしようとしているのです。この動きは止められないのです。ワールド・ヒストリーを学ばば、アメリカ人がもっとコスモポリタンになります。ワシントン大学では、国家と資本主義に関しては、1900 年から現代までのワールド・ヒストリーは必修科目になっています。

